

令和2年6月30日

八戸市内ミニバスケットボール関係者様

八戸市バスケットボール協会
U12部会会長 三角浩司

ミニバスケットボールに関わる感染予防対策について

日頃より八戸市バスケットボール協会U12部会へのご支援ご協力ありがとうございます。また、活動再開からおよそ半月になりますが、皆様の感染予防対策へのご理解とご協力のおかげで安全に活動することができております。心より感謝申し上げます。

いよいよ対外試合の自粛期間も終了となります。JBA(日本バスケットボール協会)からは、今後の感染予防対策として「活動再開に向けたガイドライン」が出され、各地区の状況に合わせて対策を行うことが求められています。そこで、JBAのガイドラインをもとに、中学校や高校での活動状況を踏まえ、八戸市ミニバスケットボール協会U12部会としての基本的な対策について考えました。大会を開催する場合だけでなく練習試合等を行う場合にも、下記の内容を参考にして対策を講じていただければと思います。また、熱中症についても配慮が必要な時期になります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

記

八戸市バスケットボール協会U12部会 感染予防対策について

*大会の開催などに関わる感染予防対応ですが、練習試合等でも参考にしてください。対外試合については、「試合を行うための選手のコンディションが整っていること」及び「チーム内に感染が疑われるものがない」ことが最低限の条件となります。

1 事前の対応

- 各会場において感染対策に向けた準備を行うとともに、参加チームに対して感染予防のために選手・スタッフが遵守すべき事項を事前に連絡し協力を求めることが重要。事前・実施中・事後に相互に連絡を取り合える環境を構築しておく。

1 会場への移動

- 移動手段においてもソーシャルディスタンスに留意する。
- 可能な限り保護者送迎をお願いする。

2 参加できる人

- 必要に応じて、“必須”“非必須”のようにグループ分けをし、参加者について検討する。
 - グループ1(必須) 選手、コーチ、審判、大会スタッフ、メディカルスタッフ、警備
 - グループ2(望ましい) 報道関係者
 - グループ3(非必須) 観客
 - *控室や移動時の混雑等を考慮し、会場に応じてチーム数や参加人数を限定する。
 - *以下に示す対策が難しい場合には、無観客や必要最小限の応援者について検討する。
 - *各チームで参加者の把握する。(事後の感染状況の連絡・確認のため)
 - *必要に応じて保護者の承諾書等を準備する。

3 参加者への連絡事項、事前連絡

- 各チーム、大会関係者に以下の項目を事前に伝える。
 - ①以下の事項に該当する場合の自主的な参加の見合わせをする。
 - ・検温して熱がある場合、体調が良くない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状)

- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日間以内に政府から入国制限、帰国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

*必要があれば、選手や参加者の健康チェック表等を準備する。

- ②参加者が全員、マスクを着用する。
- ③主催者や会場校が示す注意事項を厳守する。
- ④終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合には速やかに報告する。
- ⑤実施中は可能な限り行動記録を記載する。(感染者発症発覚の際の濃厚接触者特定のため)
- ⑥参加する各チームでも消毒液等を準備する。

4 監督会議、代表者会議、打ち合わせ

- ・運営に関わる注意事項、チームへの依頼事項として以下の項目を伝える。
 - ①試合前、試合後に相手チーム、審判との握手はしない。
 - ②両チームベンチへの挨拶を実施しない。 ③円陣はしない。
 - ④倒れた選手がいる場合、手を貸さないで大人に知らせる。
 - ⑤ハイタッチ、抱擁を行わない。 ⑥咳エチケットを守る。
 - ⑦ボトルを共有しない。 ⑧タオルを共有しない。
 - ⑨コート上でチームメイト、審判と会話をする際にもお互いの距離について配慮する。
 - ⑩ベンチではマスクを着用し、会話を控える。

II 会場における対応

- ・マスクの着用やソーシャルディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
- ・審判、ボランティアはマスク等の顔を覆う物を着用することが望ましい。
- ・手指消毒液など広く使用できるよう準備し、参加者は頻繁に手洗いをする。
- ・試合間、ハーフタイムは扉や窓をできるだけ開けて換気する。試合中も、プレーに影響するような日光、人の動きが視界に入らないことに気をつけながら、できるだけ換気する。
- ・審判は笛の代わりに電子ホイッスルを使用しても良い。
(使用については聞こえにくいこともあるので状況によって検討)
- ・会場又はスペース内で複数の利用者が触れると考えられる所等（ドアノブ、ロッカーの取手、デジタイマー・得点板等の試合で使用する機器、筆記用具、テーブル、イス等）について事前に消毒を行う。実施中にもボールを含めて頻繁に消毒する必要がある。
(ボールの消毒は劣化を招く可能性があるとしてされている。必要に応じて行う。)

1 諸室等

- ・各部屋にアルコール消毒液を設置する。
- ・全てのドア及び窓を開け、三密の発生を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ・ドリンクを冷やすためのアイスボックス・イベントクーラーの使用は控える。
- ・座席は前後左右1.5m～2mの間隔を開け、お互い正面に座らないように配慮して設置。
- ・喫煙所は設けない。

2 手洗い場所、トイレ

- ・手洗い場にはポンプ式液体または泡石けんを用意する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の表示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのパーパータオル（使い捨て）を準備する。
(布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする)
- ・アルコール消毒液を設置する。
- ・便器の蓋を閉めて汚物を流すように表示する。

3 更衣室・ロッカールーム・控室・審判控室

- ・広さにはゆとりをもたせ、利用者同士が密になることを避ける。
- ・ゆとりをもたせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限する、別室を用意するなどの措置を講じる。
- ・換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を常時開放して換気を行う。
- *各チームで、選手の控室での消毒液などを準備する。

<利用者の注意事項>

- ・マスクを着用し、会話を最小限に留める。
- ・利用者は滞在時間を短くするため着替えに限定する。

<審判員の注意事項>

- ・審判員はマスクを着用し会話を最小限に留める。
- ・審判員はロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。
- ・審判同士のミーティングは会場で三密とならないスペースなどを探して実施する。
- *審判部のコロナ対応の規則に準じて大会にエントリーし、行動する。

4 サイドライン ベンチ

- ・同会場で複数試合を行う場合は、試合終了ごとにベンチの消毒を行う。
- ・ベンチにおいても適切なソーシャルディスタンスを試合中に確保する。
- ・テープやペイントで印を付けることで選手やコーチのソーシャルディスタンスを促す。

5 来場者対応

- ・観客や来場者をいれるためには運営エリアだけでなく入退場ゲート、観客席、移動導線においても感染対策を行う。
- *応援は、大きな声にならないように保護者や応援者に協力をお願いする。

6 ゴミの廃棄方法

- ・会場のゴミを収集する場合には、マスクや手袋を必ず着用する。ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄する。マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石けんと流水で手を洗い、手指消毒する。

III 事後の対応

- ・会場の準備で事前に消毒した所（ドアノブ、ロッカーの取手、デジタイマー・得点板等の試合で使用する機器、筆記用具、テーブル、イスなど）を消毒する。
- ・終了後、試合に参加した選手やチーム関係者等で、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した方がいる場合、速やかに八戸市バスケットボール協会U12部会会長並びに試合会場の担当者（責任者）へ報告する。

感染予防対策を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。各チームでも感染予防対策を検討し周知しながら、お互いに理解した上で試合等の実施や参加をしていただければと思います。また、現時点では、各大会の中止の状況等から、JBAでの活動レベル2（都道府県移動は控え、原則無観客、比較的小規模＝50人程度、感染リスク対策を十分に行って開催）～レベル3になるあたりと捉えております（JBAホームページ「JBAバスケットボール活動再開に向けたガイドライン」をご覧ください）。八戸市内の中学校・高校の活動状況（感染リスク対策及び、チーム数や参加者数・応援者数の制限による実施）を踏まえ、会場の広さ等に応じて参加人数・チーム数・観客数等を制限するなどの対策もお願いします。子どもたちの生命・健康の安全を一番に考えながら、今後の状況に応じて対策を検討・修正し、安全に活動を進めていきたいと思っています。ご理解とご協力をお願いいたします。